

教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成28年 8月15日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	① 男性 ② 女性
	住 所	岐阜県 池田 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	①20歳代 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代 ⑤60歳代		
	情報の種類	①意見 ②要望 ③情報提供 ④質問		
	回答の希望	① 教育委員会の回答を希望 ②教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。 世代を超えて参画する福祉活動			
<p>私が住む町では、各地区に福祉委員会があり、75歳以上のお年寄りの方々を対象とした「ワンコインカフェ」「花餅づくり」「流しそうめんのつどい」など、様々な活動を行っています。最近では、これらの活動を地区の子ども会と連携して、小学生の子とお年寄りの方とのふれあいの場へと進めてみえます。</p> <p>先日行われた「流しそうめんのつどい」では、まず、小学生の子が会場の準備をすることから始めていました。そして、お年寄りの方と小学生の子でチームをつくり、輪投げやお手玉バスケットボールのゲームで楽しんだり、一緒に流しそうめんを食べたりしました。その中で、初めて会ったお年寄りの方と子どもが次第に慣れ親しみ、和やかな会話へと広がり、流れてくるそうめんをすくってあげたり譲り合ったり、おつゆや具を取ってきてあげたりなど、自然なかかわりへと広がっていきました。</p> <p>今、私の住む地域でも、子どもが多い地区は核家族ばかりの新興住宅地で、昔からの部落はお年寄りばかりになりつつあります。そのため、世代を超えたふれあいの場は益々減り、子育ても更に難しくなってきました。地域の福祉委員会の方が進めてみえる活動は、そんな現状に一石を投じるものであり、他の多くの地域でも進められていることでしょう。</p> <p>ただ、このような取り組みは、どうしても単発的なものになりがちです。そのため、ふれあいが普段の日常生活に広がり、地域の教育力へと機能していくためには、さらなる一手が必要だと、役員の方も悩んでみえました。</p>				
				